京都府

人と人をつなぐ。
地域活動をお手伝い。

國府です

田村です

協働コーディネーター

（京都府 文化生活部 文化生活総務課 府民協働係）

地域のさまざまな課題

子育てについて、
身近に相談できる場所が
なくて困っている

この地域には高齢者が
多いけれど、災害時に
うまく避難できるかなぁ

近くで暮らす外国人が
増えてきたけど、
地域のルールをうまく
伝えられていない

若い住民が少なくなって、
伝統のお祭が続けられ
なくなってきた

皆さんなら、課題とどう向き合いますか？

京都府の取り組み例

男山中央センター商店街（八幡市）

京都には大学が沢山ある！
大学生に商店街で活動してもらったら、
活気が出るのではないか？

そこで…！
京都府が、地域で活動して
みたい大学生を募集。

大学生の商店街での活動

継続的に活動してくれて、関係性が深くなりました。
色々な世代の人と関わるのは、すごくいいこと！
（男山中央センター商店会 会長）

私のウェルビーイング（田村）

関わる皆さんの声が合わさって、一人では生み出せない価値が生まれる！

「こんなことやってみたい！」　「こんなアイデアあるよ！」

「こうしたらどうかな？」

ワクワク！
楽しい！

皆さんも試してみてください♪
「それいいね」「素敵だね」と、
相手の良いところを伝えてみると、
いろんな意見やアイデアが
出てきますよ！

こんな風にして育ったプロジェクトは、
まるで**おいしいミックスジュース**みたい！

私のウェルビーイング（國府）

協働コーディネーター以前の職場

福祉（ふくし）：どちらの漢字も同じ意味を持ちます。

ふだんの
くらしを
しあわせに

相手がうれしいと思うこと＝自分がうれしいと思うこと

協働コーディネーターとして大事にしていること！

・相手の困っていることに耳を傾ける（傾聴）
・知っていることの開示（情報共有）
・資源（ヒト・モノ・コト）をマッチング（つなぐ）

Win＝Win

協働するものをつなぐことで困り事が解決し、喜びも増える

幸せは、皆さんの心が感じるもの。

皆さんそれぞれのウェルビーイングに
挑戦してみてくださいね！

すぐには上手くいかなくても、大丈夫。
「このやり方じゃないんだな。
じゃあ次はどうやってみようかな」と考えてみよう♪